

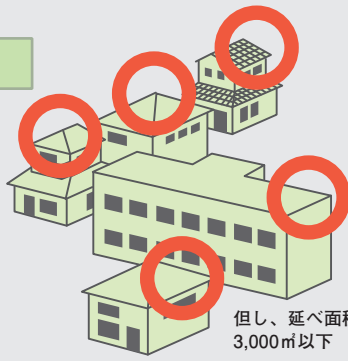
## ご採用可能地域と建物〈概要〉

※ご採用にあたっては構造仕様をよくご確認ください。

### 法22条区域

低層の住居や集合住宅等が立ち並ぶ地域。

「はる・一番」施工可能



但し、延べ面積  
3,000㎡以下

### その他地域

建築制限のない地域。  
木造建築は規模に制限がある。

「はる・一番」施工可能

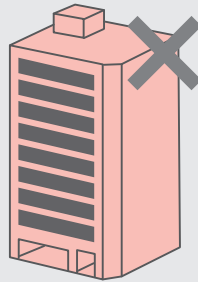
### 防火地域

※原則、耐火建築物(耐火構造)にする必要があります。

駅周辺や主要幹線道路沿いが主に指定されている。商業施設などの高層建築物が多く、建築に対して規制が厳しい。

「はる・一番」一部施工可能

※しかしながら指定されている面積はごくわずかです。

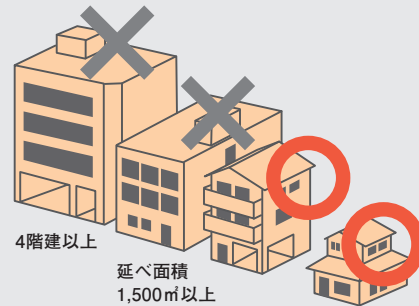


3階建以上

### 準防火地域

防火地域に隣接し、中規模な建築物や住宅が密集している地域。

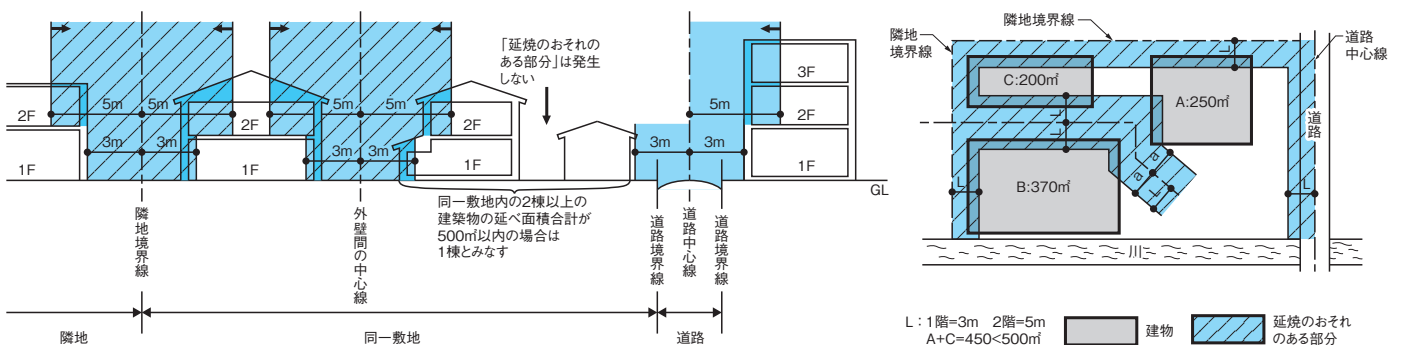
「はる・一番」施工可能



4階建以上

延べ面積  
1,500㎡以上

### 延焼のおそれのある部分とは？



※令和2年国土交通省告示第197号で、延焼のおそれのある部分(法2条六号)から除く部分として、建築物の外壁面と隣地境界線等(隣地境界線、道路中心線または同一敷地内の2以上の建築物相互の外壁間の中心線)との角度に応じて、当該建築物が延焼するおそれのある部分から除かれる部分が定義されています。

# 地域・規模と建築制限の概要

●下表は建築基準法の制限について概略を示しています。より細部に関する建築関係法令や自治体の条例による制限がありますので、可否判断については申請される建築主事または民間の指定確認検査機関に事前にご確認ください。

## 戸建住宅

地域	階数	構造	延べ面積 S(m <sup>2</sup> )		S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000
			S ≤ 100	100 < S ≤ 500					
防火地域	3階建	木造・不燃下地	耐火構造						
		不燃下地	防火構造 ※1	耐火構造					
	1・2階建	木造下地	45分準耐火構造	耐火構造					
準防火地域	3階建	不燃下地	防火構造 ※1						耐火構造
		木造下地	準防火3階仕様での外壁構造 ※2	45分準耐火構造					
	1・2階建	不燃下地	防火規制なし ※4			防火構造 ※1			
		木造下地	防火構造 ※5			45分準耐火構造			
法22条区域	1・2・3階建	不燃下地	防火規制なし ※4						
		木造下地	準防火構造 ※3 ※5				防火構造 ※5		

- ※1 柱・梁が不燃材料で、壁の延焼のおそれがある部分が防火構造、それ以外の部分の仕上げ・下地が準不燃材料以上で造られたものです。
- ※2 防火構造の構造仕様+内装側にせっこうボード12mmまたは、45分準耐火構造をご使用ください。
- ※3 準防火構造が要求される場合は、防火構造をご使用ください。
- ※4 建築基準法での当該建築物の外壁に関する規制はありませんが、念のため建築主事または民間の指定確認検査機関にご確認ください。
- ※5 延焼のおそれのある部分に適用。

## 共同住宅 (共同住宅の場合、3階建には1時間準耐火構造以上が要求されるため、使用できません。)

地域	階数	構造	延べ面積 S(m <sup>2</sup> )		S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000
			S ≤ 100	100 < S ≤ 500					
防火地域	1・2階建	不燃下地	耐火構造						
		木造下地	45分準耐火構造	耐火構造					
準防火地域	1・2階建	不燃下地	防火規制なし ※3			防火構造 ※1 (2階床面積が300以上または延床面積が500超えの場合)			耐火構造
		木造下地	防火構造 ※4			45分準耐火構造 (2階床面積が300以上または延床面積が500超えの場合)			
法22条区域	1・2階建	不燃下地	防火規制なし ※3			防火構造(2階床面積が300以上の場合) ※1			
		木造下地	準防火構造 ※2 ※4			45分準耐火構造(2階床面積が300以上の場合)			

- ※1 柱・梁が不燃材料で、壁の延焼のおそれがある部分が防火構造、それ以外の部分の仕上げ・下地が準不燃材料以上で造られたものです。
- ※2 準防火性能が要求される場合は、防火構造をご使用ください。
- ※3 建築基準法での当該建築物の外壁に関する規制はありませんが、念のため建築主事または民間の指定確認検査機関にご確認ください。
- ※4 延焼のおそれのある部分については、防火構造が要求されます。

## ■地域・規模と建築制限の概要と認定取得構造の対応表

下地・断熱方法			構造仕様(耐火等級)		45分準耐火構造(耐火等級3)		防火構造(耐火等級2)		
下地	断熱工法	外張断熱材	充てん断熱材		横張り	縦張り	横張り	縦張り	
木造下地	軸組	充てん断熱工法	グラスウール・ロックウール		QF045BE-1551-1	QF045BE-1552-1	PC030BE-3632-4	PC030BE-3633-2(1)	
					QF045BE-0433~0438	QF045BE-0314	PC030BE-3632-2(2)	PC030BE-3633-2(2)	
					QF045BE-0440~0445				
	外張断熱工法	フェノールフォーム	セルローズファイバー	吹付け硬質ウレタンフォーム				PC030BE-3702-3	PC030BE-3701-3
				アクアフォーム アクアフォームLITE ソフティセルONE				PC030BE-3765-1	PC030BE-3764-1
				セルローズファイバー				PC030BE-3815-1	PC030BE-3816-1
軸組	外張断熱工法	フェノールフォーム	充てん断熱材	なし			PC030BE-3589-2(1)	PC030BE-3590-2(1)	
				あり	グラスウール・ロックウール	QF045BE-1617	PC030BE-3589-2(2)	PC030BE-3590-2(2)	
				なし			PC030BE-3592-2	PC030BE-3593-2	
軸組	外張断熱工法	ポリスチレンフォーム	充てん断熱材	なし			PC030BE-3704-2(1)	PC030BE-3703-2(1)	
				あり	グラスウール・ロックウール		PC030BE-3704-2(2)	PC030BE-3703-2(2)	
				硬質ウレタンフォーム(キューワンボード)	あり	グラスウール・ロックウール		PC030BE-3704-2(2)	PC030BE-3703-2(2)
不燃下地	充てん断熱工法	断熱材なし	グラスウール・ロックウール				PC030BE-3679-1	PC030BE-3680-1	
							PC030NE-0255-1(1)~(3)	PC030NE-0254-1(1)~(3)	
							PC030NE-0281-1(4)~(6)	PC030NE-0282-1(4)~(6)	
不燃下地	充てん断熱工法	断熱材なし	グラスウール・ロックウール				PC030NE-0281-1(1)~(3)	PC030NE-0282-1(1)~(3)	
							PC030NE-0091	PC030NE-0069	
							PC030NE-0259-1	PC030NE-0258-1	

※構造用面材およびせっこうボードの種類によって、認定番号が異なります。